



創造 協調 躍進
文武両道

本校の役割と学校経営の方針

本校は、昭和55年に、高校教育のあるべき姿を追求する進学モデル校・研究開発校として創立された普通科高校である。「創造・協調・躍進」を校是とし、生徒の個性・能力に応じた教育の徹底を基本として「文武両道」を実践してきた。国公立大学への進学を希望する生徒は7割を超え、震災復興の途にある福島県に貢献したいという生徒も数多い。本校は、文武両道を追求する中から、粘り強く物事を「やり抜く力」、社会が必要とする良好なコミュニケーション力、難関・中堅国公立大学を目指すことができる学力を培い、広い視野を持って国や地域に貢献しようとする逞しい人材を育成する。

校長 吉田豊彦

重点① 学びの充実 **♪♪学ぶことは日々を新しくすること**

○シラバスに則り、「対話」型の魅力ある授業で深い学びを実現し、生涯にわたって主体的に学ぼうとする力を育てる。

○高大接続改革・次期学習指導要領に対応した指導法を研究・実践する。

○「大学進学ミッション支援事業」（県事業）を活用し、学校全体で計画的な進路指導に取り組む。

○「進路情報センター」としての進路指導室からの情報提供を充実させる。

【指標】「授業づくりラウンドテーブル」委員会を中心とする授業・カリキュラム研究（H29・30）
国公立大学合格者100名・大学等進学85%、家庭学習時間2時間90%（1・2学年）
偏差値60以上50名（数学科）、3カ年の指導方針の練上げ・資格検定受験奨励（英語科）
課題の精選、実験・ICT教材の充実（理科・芸術科・家庭科・情報科）
主体的な学び満足度90%（H28生徒76%）

重点② 体育文化活動の充実 **♪♪はげしい心美しくせよ青春時代**

○生涯にわたって芸術やスポーツ、ボランティア活動に取り組もうとする姿勢を育てる。

○学習と部活動が両立できる環境を整備し、家庭学習時間を確保する。

【指標】部活動継続率90%（1・2学年）、授業・部活動中の事故防止

全国・東北での活躍（全部活動）、新体力テストA級5%向上（保健体育科）

「文武両道」の満足度90%（H28生徒78%）

重点③ キャリア教育の充実 **♪♪顔を上げてわれら開かれた道を行く**

○社会や文化、環境等への興味関心を高め、総合的なコミュニケーション力と生活力を育てる。

・共感できる心性 ・論理的に話し記述する知性 ・感じ考えたことを表現する身体性

○自己の生き方を考える多様な機会を用意し、夢に向かって努力し続ける校風を磨く。

○スクールカウンセラーとの連携等により教育相談を充実させ、自他の存在（命）を大切にする生徒を育てる。

○場に応じた着こなし・挨拶の励行・情報モラルの指導を充実させる。

○自転車通交ルールに関する指導を充実させる。

○健康教育（歯・口腔の健康増進、性・食・環境・衛生等の指導）を充実させる。

【指標】「自己理解」に関する取組の充実（1学年、次年度「自己探求」につなぐ。）

課題発見・課題解決力の涵養（全学年）、交通事故ゼロ、年間皆勤者300名

表現・鑑賞の推進（芸術科）、いじめ防止対策の計画的な推進

清掃奉仕活動の充実（厚生部・生徒指導部）、日常的に新聞を読む生徒80%（3学年）

読書年間5冊450名（全校）、図書貸出一人4冊（教務部・国語科）

歯科治療率100%（1・2学年 H28・1学年71%）

重点④ 情報発信・共有、施設の活用 **♪♪今日は明日の歴史 福島東高**

○「東高見学会」やHPを充実させ、「東高の教育」をアピールする。

○授業力向上のための授業公開、学校事故防止のための研修など、質の高い教育を実践するための情報共有を進める。

○火災、自然災害等に対する危機管理体制を整備し、生徒と東高の歴史を未来に繋ぐ。

【指標】HPアクセス数30万件、緊急連絡（mail）の確実な運用

「入学してよかった」100%（H28保護者90%）